

捺印履歴の 1 履歴あたりのデータサイズについて

・ この文書の説明

この文書は、捺印履歴に保存される捺印履歴情報のデータサイズについて記述されています。

・ 内容

パソコン決裁の捺印アプリケーションで電子ファイルに対して捺印を行った際に保存される履歴情報のデータサイズは次の通りとなります。

捺印履歴は、通常拡張子が LGI と LGD の 2 種類のファイルによって構成されています。捺印アプリケーションで電子ファイルに電子印影を捺印した際に、対象となるファイルにはその履歴情報が追加されファイルサイズが増加します。

拡張子 LGI ファイル

1 回の捺印で、98 バイト増加します。

拡張子 LGD ファイル

1 回の捺印で、約 60 バイト増加します。

※可変長なサイズの情報を受け取る捺印履歴項目（文書ファイル名や文書番号、承認項目など）の文字数などによってこの増分は変化します。

例：文書ファイル名に 250 バイトの情報を追加した場合には拡張子 LGD ファイルにさらに 250 バイト追加され、承認項目 1 に 30 バイトの情報を追加した場合には更に 30 バイトが追加されます。

・ 影響を受けるソフトウェア

パソコン決裁 5 捺印ツール

パソコン決裁 5 管理者ツール

パソコン決裁 6 捺印ツール Standard Edition

パソコン決裁 6 管理ツール Standard Edition

パソコン決裁 6 管理ツール Advanced Edition